

Case 23-2006: A 36-Year-Old Man with Numbness in the Right Hand and Hypertension
(Volume 355: 394-402)

【症例】36 歳男性

【主訴】右手のしびれ、高血圧

【Problem list】

1 . 腕のしびれ

7 ヶ月前から左腕にしびれが生じた。

2 . 高血圧

7 ヶ月前に指摘され atenolol が処方された。3 週間前は 170/110 mmHg、12 日前には 190/120 mmHg となり terazosin と phenoxybenzamine が処方された。入院時は 145/100 mmHg だった。

3 . その他

3 週間半前に外科クリニックを受診したときから、盗汗、動悸(3~5 回/day)、不眠を訴えた。
入院時、右網膜血管腫が認められた。

4 . 神経学的所見

入院時、四肢の MMT が 4、左腕の固有間隔と触・温度覚低下、腱反射軽度非対称を認めた。

5 . 画像所見

5-1. 脳神経系

7 ヶ月前の脊椎 MRI で延髄に嚢胞が認められた。2 週間前の頭部 MRI で、右延髄に 1.3 cm の腫瘍を認めた。入院時の脊椎 MRI で T12 椎体レベルの中心線よりわずかに右側の脊髄後側に、増強効果のある小さい領域を認めた。

5-2. 腎臓・副腎

3 週間半前の MRI で、右副腎に 2.3 × 1.9 cm の動脈層で均一に増強効果のある腫瘤が、左腎に 2 × 1 cm の造影で中隔を有する complex cyst が認められた。MIBG シンチで、右腎の上内側付近に集積像を認めた。

5-3. 肝臓

3 週間半前の MRI で、肝臓に血管腫と思われる T2 強調で高信号を示す多発性の嚢胞 (最大のものは 2.4 × 2 cm) が認められた。

6 . カテコラミン高値

4 週間前に血清ノルメタネフリン高値、3 週間前に尿中メタネフリン・尿中ノルエピネフリン・尿中ノルメタネフリン・尿中 VMA が高値を示した。